経済成長の実現と国際競争力の強化

参考

1. インバウンド需要の回復・再拡大や企業の国内投資回帰を支えるインフラ整備

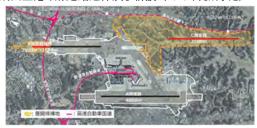
円安も活かした**観光活性化や企業の国内投資回帰**を踏まえ、**我が国の経済を支える基盤**である高規格道路、国際戦略港湾、新幹線、空港等のインフラ について**戦略的かつ計画的な整備**を進めることにより、**経済成長の実現**を図り、国際競争力を取り戻す。

<インバウンド需要の回復・再拡大の基盤>

<企業の国内投資回帰を支える基盤>

■旅客需要回復を見据えた受入環境整備

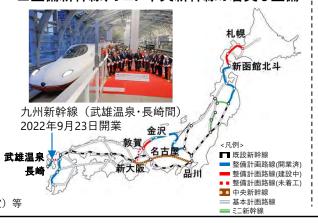
成田空港の滑走路延伸及び新設(2029年完成予定)



羽田空港アクセス鉄道の整備(2030年頃供用開始予定)

- 関西国際空港ターミナル改修(2025年主要機能完成予定)
- 福岡空港滑走路増設(2025年供用開始予定)
- 鹿児島港国際クルーズ拠点整備(2024年度運用開始予定)等

■整備新幹線、リニア中央新幹線の着実な整備



■道路ネットワークの構築・機能強化



■国際コンテナ戦略港湾の機能強化



横浜港国際海上コンテナターミナル再編イメージ

2. カーボンニュートラルの実現

- 暮らしやまちづくり、交通・運輸、インフラ等、幅広い分野を所管する国土交通省の総力を挙げて、2050年カーボンニュートラ ルの実現に向けた成長投資を促進する。
- ■カーボンニュートラルポートの形成、洋上風力発電の導入促進



- ■多目的ダムの水力発電強化等、民間資金 も活用し、「ハイブリッドダム |の取組を推進
- ■LCCM(ライフサイクルカーボンマイナス) 住宅 の普及促進



建築時・居住時・解体時において省CO2 太陽光発電等でエネルギーを創出

■下水汚泥のエネルギー・肥料利用の促進



リン回収

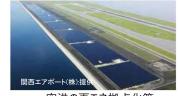
バイオガス発電

農業への汚泥肥料利用の促進 (販路拡大に向けて農水省と連携)

- ■次世代自動車の普及に向けた道路 環境整備
 - EV充電施設・水素ステーションの設置協力
 - 走行中ワイヤレス給電の研究支援



■インフラ空間を活用した太陽光発電 の積極的な導入



空港の再エネ拠点化等

3. PPP/PFIの推進

- 民間の資金・ノウハウを活用 し、良質な公共サービスの提供と 民間の事業機会創出を図る。
- ■コンセッションの推進



国内線初のウォークスルー型ショッピングエリアを導入

■官民連携によるにぎわい創出



飲食店・売店等の収益を公園施設の整備 改修に活用 (Park-PFI)

「デジタル田園都市国家構想」の実現 ~インフラ分野のDX~【参考】

1. インフラDXによる自動化・効率化の推進

- 人口減少や少子高齢化が進み、若年層が急速に減少する中、作業の**自動化・自律化**技術の一層の開発・社会実装を推進し、現場の飛躍的な生産性 向上と働き方改革を実現する。
- ■建設機械施工の自動化・自律化の促進



※ICT施工の導入に向けた技術者支援の促進にも取組む

■デジタル化による工事関係協議・手続きの効率化

■新技術を活用したインフラの点検・維持管理の高度化



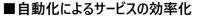


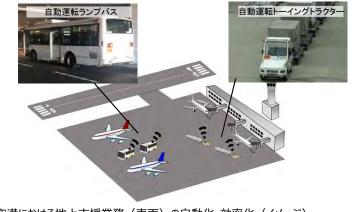
列車運行のない時間帯に人が点検



営業列車等に設置したVRカメラで 路線状況を把握 VRを用いた検査支援・効率化

■港湾での物流手続の電子化、ヒトを支援するAIターミナルの実現





空港における地上支援業務(車両)の自動化・効率化(イメージ)

2. デジタル技術を活用したインフラサービスの高度化

- デジタル技術を駆使してインフラの潜在的機能を引き出すとともに、**インフラまわりデータのオープン化**により、**新たな民間サービスの創出**や<mark>国民へのサービス高度</mark> 化を実現する。
- ■国土交通データプラットフォームにおけるデータ連携の拡大と、 表示・検索・ダウンロード機能の高度化

<国十交诵データプラットフォーム>



3次元都市モデルや道路交通センサス等、 国交省が保有するデータの連携、表示を実現

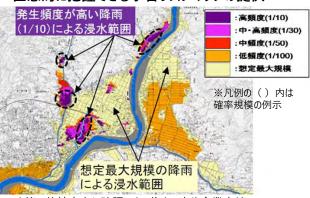
<利活用イメージ>





データ公開による情報伝達や行政利用 による施策判断の高度化を実現

■水害の発生頻度に応じた浸水範囲を 直感的に把握できる水害リスクマップの提供



スマホ等で伸縮自在に確認でき、住まい方や企業立地の 選択に活用可能、民間による水害リスク分析・評価を促進

■本川・支川が一体となった高精度な洪水予測 (主要河川では3日程度先まで水位を予測)

■自動運転車の技術開発と道路インフラからの 適切な支援による自動運転の実現



■交通障害自動検知システムによる異常の 早期発見の実現等、道路管理を高度化

「デジタル田園都市国家構想」の実現 ~コンパクト+ネットワーク~【参考】

人間中心のコンパクトなまちづくりとその骨格となる公共交通の確保を更に推進するとともに、建物内からエリア・都市まで再現した高精細なデジタルツインの 実現やスマートシティの推進、地域資源の活用による生活拠点の形成等により、都会から地方への人の流れを発展させ、地方都市等を活性化させる。

人間中心のコンパクトなまちづくりと その骨格となる公共交通の確保

■人間中心のコンパクトなまちづくり

まちなかや日常生活を営む身近なエリアにおいて、必要な都市機能 や公共公益施設の誘導、骨格となる公共交通の確保、ゆとりとに ぎわいのある「居心地が良く歩きたくなる」空間の形成や地方都市 と大都市の交流・連携を推進





地方都市と大都市を結ぶ 「居心地が良く歩きたくなる」空間の創出 イノベーション拠点の整備

■地域交通の「リ・デザイン」

コンパクトなまちづくりと公共交通を一体的に捉え、「交通DX」、 「交通GX」、「3つの共創」(※)により、利便性・持続可能性・生 産性の高い地域交通ネットワークに再構築

交通DX

自動運転

(※)「3つの共創」: ①官民共創、②交通事業者間共創、③他分野共創





医療・介護×交通 エネルギー×交通 他分野共創の例

HOROBORG THE PROPERTY

(検索)(予約)(決済)

MaaS

デジタル・交诵ネットワークで接続

大都市



建物内からエリア・都市まで再現した高精細なデジタルツインを実現

■建築分野のデジタル・ インフラとなる建築BIM

高精度な3Dモデルに設計、 施工情報を一元化し、建築 生産プロセスを大幅に効率 化、供用後の管理にも活用 する手法を標準化



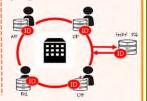
■都市分野のデジタル・ インフラとなるPLATEAU

建物などの都市空間を サイバー空間上で3次 元的に再現する[30] 都市モデル |を整備



■情報連携のキー となる不動産ID

住居表示の表記ゆれ等 の影響を受けず、不動産 を一意に特定できる共通 コードによって、不動産関 連情報のデジタル活用を 促進



政府全体のベース・レジストリ整備等とも連動し、建築BIMからPLATEAUへの 自動変換や不動産IDをキーとした連携等の一体的な取組を進め、不動産 DX・防災DX・物流DX、都市開発・まちづくりのスピードアップ等の実現を図る

地域資源の活用による生活拠点の形成と 道路ネットワークによる連携の促進

■「道の駅 | 第3ステージ 地方創生・観光を加速する拠点の形成





キャッシュレス決済、通販・ECの取組の横展開の促進





防災機能の整備・強化を推進

ベビーコーナーの設置

■地方移住や二地域居住の支援と空き家活用



シェアハウス等移住者用住宅の整備(空き家活用等)



空き家、空きビル、古民家を活用したコワーキングスペースの整備

